

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施評価表

- 国が地方版創生総合戦略策定に先駆けて実施する事業を支援する交付金(種別:基礎交付)を受け、福智町では6事業を実施しました。
- 福智町では、地方創生の先駆性を有する事業「タイプⅠ」と、地方版総合戦略の早期策定に伴う推進事業「タイプⅡ」に、それぞれ1事業が国から採択され、事業を実施しました。
- 福智町が平成27年度に実施した地方創生事業について、事前に設定した重要業績評価指標(KPI)の達成度等、その効果を検証した結果を今回公表するものです。

No.	事業の名称	種別	実績額 (単位:円)	事業の概要	本事業における重要業績評価指標(KPI)			本事業終了後の実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
					指標	指標値	単位	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	福智町総合戦略策定事業	基礎交付	5,117,736	人口動態や経済構造の情報集約と分析、住民のアンケート調査、外部有識者を含む委員会の運営等を実施し、福智町版の地方創生総合戦略を策定する。	指標①	福智町まち・ひと・しごと総合戦略策定	1	式	1	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	予算内かつ目標期間内の総合戦略策定が完了している。本戦略により、福智町の人口動態や将来像、今後取り組むべき事業の方向性が明らかになった。	事業の継続	PDCAサイクルによる総合戦略の評価や見直しを行い、地方創生を継続して推進する。
2	福智町特産品開発・販路開拓支援事業	基礎交付	12,000,000	福智町の農産物等を活用した新商品開発や販路開拓の取り組みを支援する。福智町の特産品開発のために設立した一般社団法人に委託し、地域活性化を図る。	指標①	商品販売額	2,000	万円	1,000	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	さらなる都市部への販路拡大、特に福岡市圏域での展開に注力する必要がある。また、情報発信の充実及びイベント等でのPR強化が求められる。	事業の継続	地方創生に欠かせない地域ブランド化につなげる特産品開発や六次産業化を継続して推進する。
					指標②	新商品開発	2	品種	3					
					指標③	新商品販売店舗	5	軒	1					
					指標④	新特産品開発	1	商品	3					
					指標⑤	新特産品取扱店舗	15	軒	7					
3	観光の拠点である施設(温泉施設)を活用した観光振興事業	基礎交付	10,000,000	福智ブランドの特産品販売や都市部での観光プロモーション、PR活動の実施等により、観光入込客を増加させ、福智町の観光拠点としての振興を図る取り組みを支援する。	指標①	観光入込客数	215,000	人	227,213	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	新規顧客の獲得状況や類似施設との比較検証で現状の把握と事業の将来について分析する必要がある。他の観光資源と連携した取り組みの展開が将来的に有効である。	事業の継続	本施設は町内最多の入込客を数える観光分野の拠点施設であるため、継続して事業を推進する。
4	雇用・定住促進地域情報窓口設置事業	基礎交付	7,981,436	地元のきめ細かな求人情報、空き家や土地の状況等、移住に役立つ生活関連情報を一体的に提供できるよう、庁舎内に相談窓口を設置し、ウェブサイト構築。雇用と定住促進につながるサービスを積極的に推進する。	指標①	相談件数	400	件	223	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	本事業により、ハローワークと連携した雇用・定住相談窓口の設置が実現できた意義は大きい。今後さらなる発展による地方創生に直結する成果を期待する。	追加等更に発展させる	雇用・就業促進機能に加え、空き家や不動産物件情報を提供する定住促進機能を強化させ、事業を推進する。
					指標②	求人件数	50	件	100					
					指標③	就業件数	10	件	10					
					指標④	空家件数	300	件	522					
5	多世代交流・多機能型拠点(小さな拠点)整備事業	基礎交付	7,240,415	既存の公共施設(支所)を小さな拠点施設として整備するため、施設長を全国公募し、H28年度の開設に向けて取り組む。図書館機能、歴史資料館機能、情報機能、世代間交流機能、住民生活サービス機能等を備えた多機能型の拠点施設として、その基盤整備を推進する。	指標①	地域ワークショップの開催	6	回	6	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	どのような人材が必要かを踏まえて育成を図るべき。社会・地域・まちづくり活動に関わる次世代育成も欠かせない要素である。既存団体の育成と新規団体の立ち上げにも積極的に取り組んで欲しい。	追加等更に発展させる	図書館・歴史資料館機能、学力・創造力向上機能、地域ブランド化機能、世代間交流機能等を備えた多機能型拠点施設として、地域の核となる拠点施設の確立を目指す。
					指標②	住民アンケートの実施結果を踏まえた「拠点運営ビジョン」の策定	1	式	1					
					指標③	運営関連ボランティア組織の加盟	5	団体	2					
6	ふるさと納税拡大事業	基礎交付	5,377,600	ふるさと納税制度を拡充し、生産者育成と地域経済の活性化を図る。特典に地元特産品等を提供し、人材育成事業と連携することにより、販路開拓や生産者育成、商品の付加価値向上につなげ、町や産品の魅力の全国的なPRを展開する。	指標①	生産者数	15	件	23	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	地方創生及び地域ブランド化に向け、今後も積極的に事業を推進し、さらなる実績と効果が残されるよう期待する。	追加等更に発展させる	前年度比556倍の11億6千万円、5万件以上の寄附を集めた本事業の継続と発展を目指し、地域経済の活性化と地域ブランド化、地方創生の財源確保を積極的に推進する。
					指標②	特典商品化	30	品目	166					
					指標③	特典商品販売額増加(主要3品目販売額増加)	20	%増	9,880 H26年度: 100,000円 H27年度: 9,980,000円					

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施評価表

- 国が地方版創生総合戦略策定に先駆けて実施する事業を支援する交付金(種別:基礎交付)を受け、福智町では6事業を実施しました。
- 福智町では、地方創生の先駆性を有する事業「タイプⅠ」と、地方版総合戦略の早期策定に伴う推進事業「タイプⅡ」に、それぞれ1事業が国から採択され、事業を実施しました。
- 福智町が平成27年度に実施した地方創生事業について、事前に設定した重要業績評価指標(KPI)の達成度等、その効果を検証した結果を今回公表するものです。

No.	事業の名称	種別	実績額 (単位:円)	事業の概要	本事業における重要業績評価指標(KPI)			本事業終了後の実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
					指標	指標値	単位	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
7	先駆的多機能型「小さな拠点施設」における「ものづくり拠点(ファブラボ)機能」拡充事業	タイプⅠ	26,848,727	伝統工芸を継承する機材に加え、国内で10数箇所しかないファブラボ機能を満たすデジタルファブリケーションの機材と環境を整備し、「ものづくり拠点機能」の実効に向けた人材育成やワークショップを試行することにより、起業および製造業分野の産業活性化と、学力向上に結びつく創造力や技能の向上を図る。	指標①	小学5・6年生の意識調査	10	%増	18	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	福智町を象徴する「ものづくり拠点」かつ「人づくり拠点」となるよう、今後の積極的な展開が求められる。	事業の継続	ファブラボ機能を備えた「ものづくり拠点」の活性化により、地域の創造力を高め、ローカルブランディングやローカルイノベーションの加速化につなげる。
					指標②	ワークショップの実施 ・人材育成ものづくり子ども教室 ・伝統継承教室	2	回	2					
					指標③	利用増加に向けたプロモーションの実施及びパンフレット制作	1	式	1					
					指標④	ものづくり拠点運営人材の育成	2	人	2					
8	小さな拠点施設推進プロジェクト実施事業	タイプⅡ	9,973,800	既存の公共施設(支所)を活用した小さな拠点施設として、H28年度の開設時から機能を十分に発揮できるプロジェクトを企画し実施する。定住促進に直結する地域的課題解決を含むワンストップ拠点を担う多機能型施設の開設に向け、広報戦略を展開する。	指標①	住民説明会の開催	2	回	1	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	町内への浸透と町外への情報発信の有効な手法により、今後のPRを推進する必要がある。将来を担う子ども達に不可欠な「学ぼうとする力」の育成にも取り組んで欲しい。	事業の継続	先駆的多機能型の小さな拠点施設の事業推進と活性化、子どもたちの学力向上につなげるプロモーションや活動を継続して行う。
					指標②	住民意見交流会の開催	2	回	2					
					指標③	関係機関意見交換会の開催	6	回	13					
					指標④	意識醸成・課題共有活動の開催	2	回	2					
					指標⑤	プロジェクト基本構想及び広報戦略PR冊子の作成	1	式	1					

各事業の評価等を踏まえた地方版総合戦略の見直しについて	福智町地方創生推進委員会による更なる効果検証により、KPI等の見直しを行い、平成28年度中に総合戦略へ反映させる。
-----------------------------	---